

令和3年7月21日

保護者の皆様へ

村上市立村上小学校

## 村上小学校「クロームブック活用ルール（改訂版）」について

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

GIGA スクール構想の実現に向けて、本校では、児童（生徒）が学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていくために、授業でのクロームブック（Chromebook）の利活用を進めています。

今月中の持ち帰りに備え、家庭でのルールも含めた「クロームブック活用ルール（改訂版）」を下記のとおり決めました。クロームブックは学習する上で有効なものであり、児童（生徒）の学習に役立てるための道具です。

学校では、全校児童（生徒）がこのルールを守り、安心・安全・快適に活用できるように説明いたしました。保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。



Chromebook（クロームブック）

### 記

#### ◎ 1人1台端末を家庭に持ち帰る目的（村上市教育委員会）

文部科学省はGIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」としています。この背景には、「学校内外における学習のためのICT利活用が世界から大きく遅れている」という状況があります。このことから、GIGAスクール構想では、学校内での1人1台端末の利活用とあわせて、学校外である家庭への持ち帰りも推進することとされています。

そこで、本市としても、学校内での1人1台端末の利活用を進めるとともに、家庭への持ち帰りを始めていく必要があります。

児童生徒が端末を持ち帰り、家庭学習で活用することによって、いつでも、どこでも学び続けることができるようになります。また、自分の計画に合わせてそれぞれの学びをそれぞれのペースで個別に、時には友達と協力して学ぶことができるようになります。

ぜひ保護者の皆様には持ち帰りの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

#### 1 目的

◎村上市から貸与されるクロームブックは、学習活動のために使うことが目的です。

そのため、学習活動に関わる以外に使うことはできません。

#### 2 使用する場面

- ・クロームブックは、「学校」と「家庭」で使用します。

### (1) 学校で使う場合

- ・学校で使うときは、先生の指示をよく聞きます。
- ・休み時間や放課後に使うときも、先生がみとめたこと以外に使いません。

### (2) 家庭で使う場合

- ・クロームブックの持ち帰りについては、先生からの指示を受けて行います。
- ・持ち帰ったら、家の人にクロームブックを持ち帰ったことを伝えます。
- ・家庭学習のために使います。(学習の記録が残ります。)
- ・汚れた手でさわりません。
- ・周りに食べ物や飲み物などを置きません。
- ・セキュリティ上の問題があるため、家庭にあるパソコンで自分のアカウントは使用しません。

### (3) 登下校で気を付けること

- ・クロームブックは、教科書やノートの間にはさむなどしてランドセル(カバン)の真ん中に入れます。
- ・クロームブックを持ち帰るときは、持ち帰るものの量を考えたり、学習用具を手提げに入れたりするなど工夫します。
- ・登下校中は、クロームブックをランドセル(カバン)から出しません。
- ・学校や家に着いたら、ランドセル(カバン)から取り出し、安全な場所に置きます。

## 3 注意すること

### ◎クロームブックがこわれそうなことはしません。

- ・落としてこわしたり、水にぬらしたりしないように十分に気を付けます。
- ・持ったまま走ったり、床に置いたりしません。
- ・かばんの下に置いたり、重いものをのせたりしません。
- ・水をかけたり、しっ気の多いところで使ったりしません。
- ・日光の当たるところやストーブの近くなどには置きません。
- ・画面には指でふれます。えんぴつやペンでふれたり、落書きしたり、じしゃくを近づけるなどは絶対にしません。

## 4 保管

### (1) 学校で使う場合

- ・各教室の充電保管庫に入れて保管します。
- ・先生の指示で、充電保管庫から出し入れします。
- ・充電保管庫から出した後は、机の中やロッカーなどに入れて、自分で管理します。

## (2) 家庭で使う場合

- ・家庭学習で使い終わったら、充電します。(ACアダプターも持ち帰ります。)
- ・充電が完了したら、こわれない工夫をしてランドセル(カバン)にしまいます。

## 5 健康のために

- ・クロームブックを使用するときは、正しい姿勢で、目と画面の間を30センチメートル以上はなします。
- ・長い時間続けて使用しないで、30分に一度は遠くの景色を見るなどして、時々目を休ませます。
- ・家庭で使用する時間は、家の人とよく話し合い、長時間使用せずに細かく休憩しながら使います。
- ・寝る1時間前からは使いません。

## 6 安全な使用

- ・インターネットには制限がかけられていますが、もしもあやしいサイトに入ってしまったときはすぐに画面を閉じ、先生や家の人に知らせます。

## 7 個人情報について

- ・自分のアカウントとパスワードは、誰にも教えません。
- ・自分のクロームブックを友達に貸したり、使わせたりしません。
- ・自分や他人の個人情報(名前や住所、電話番号など)はインターネット上に絶対に上げません。
- ・相手を傷つけたり、いやな思いにさせたりすることを絶対に書き込みません。

## 8 カメラでの撮影

- ・先生が許可したとき(長期休業中の許可を含む)以外に、カメラは使いません。
- ・カメラで誰かを撮影するときは、勝手に撮らずに、必ず相手の許可をもらいます。

## 9 データの保存

- ・クロームブックで作ったデータやインターネットから取り込んだデータ(写真や動画など)は、学習活動で先生が許可したもの(長期休業中の課題を含む)だけ保存します。

## 10 設定の変更

- ・クロームブックの基本的な設定は勝手に変えられません。

11 不<sup>ふ</sup>具<sup>ぐ</sup>合<sup>あい</sup>や故<sup>こ</sup>障<sup>しょう</sup>

- 学<sup>が</sup>校<sup>っ</sup>でク<sup>く</sup>ロ<sup>ろ</sup>ム<sup>ー</sup>ブ<sup>む</sup>ッ<sup>ぶ</sup>ク<sup>っ</sup>本<sup>ほん</sup>体<sup>たい</sup>やイ<sup>い</sup>ン<sup>ん</sup>タ<sup>た</sup>ー<sup>あ</sup>ネ<sup>え</sup>ッ<sup>っ</sup>ト<sup>と</sup>が使<sup>つか</sup>えな<sup>な</sup>く<sup>く</sup>な<sup>な</sup>っ<sup>つ</sup>て、再<sup>さい</sup>起<sup>き</sup>動<sup>どう</sup>し<sup>し</sup>ても元<sup>もと</sup>に<sup>も</sup>戻<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>ない<sup>い</sup>と<sup>と</sup>きは、す<sup>す</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>に先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>に知<sup>し</sup>ら<sup>ら</sup>せ<sup>せ</sup>ま<sup>ま</sup>す。
- 学<sup>が</sup>校<sup>っ</sup>でク<sup>く</sup>ロ<sup>ろ</sup>ム<sup>ー</sup>ブ<sup>む</sup>ッ<sup>ぶ</sup>ク<sup>っ</sup>をこ<sup>こ</sup>わ<sup>わ</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>と<sup>と</sup>きは、す<sup>す</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>に先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>に伝<sup>つた</sup>え<sup>え</sup>ま<sup>ま</sup>す。
- 家<sup>か</sup>庭<sup>てい</sup>で故<sup>こ</sup>障<sup>しょう</sup>や破<sup>は</sup>損<sup>そん</sup>があ<sup>あ</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>場<sup>ば</sup>合<sup>あい</sup>は、家<sup>いえ</sup>の<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>に<sup>つた</sup>伝<sup>でん</sup>え<sup>わ</sup>て<sup>わ</sup>学<sup>れん</sup>校<sup>らく</sup>に<sup>でん</sup>連<sup>わ</sup>絡<sup>れん</sup>し<sup>らく</sup>ま<sup>ちよう</sup>す<sup>ちよう</sup>（電<sup>でん</sup>話<sup>わ</sup>、連<sup>れん</sup>絡<sup>らく</sup>帳<sup>ちよう</sup>な<sup>な</sup>ど<sup>ど</sup>で）。

12 使<sup>し</sup>用<sup>よう</sup>の制<sup>せい</sup>限<sup>げん</sup>

- 村<sup>むら</sup>上<sup>かみ</sup>小<sup>こ</sup>学<sup>がく</sup>校<sup>がう</sup>「ク<sup>く</sup>ロ<sup>ろ</sup>ム<sup>ー</sup>ブ<sup>む</sup>ッ<sup>ぶ</sup>ク<sup>っ</sup>活<sup>かつ</sup>用<sup>よう</sup>ル<sup>る</sup>ー<sup>る</sup>ル<sup>る</sup>」が<sup>まも</sup>守<sup>まも</sup>れ<sup>れ</sup>な<sup>な</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>きは、ク<sup>く</sup>ロ<sup>ろ</sup>ム<sup>ー</sup>ブ<sup>む</sup>ッ<sup>ぶ</sup>ク<sup>っ</sup>を<sup>つか</sup>使<sup>つか</sup>う<sup>う</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>が<sup>が</sup>で<sup>で</sup>き<sup>き</sup>な<sup>な</sup>く<sup>く</sup>な<sup>な</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>す。

13 返<sup>へん</sup>却<sup>きゃく</sup>・修<sup>しゅう</sup>理<sup>り</sup>につ<sup>つ</sup>い<sup>い</sup>て

- 転<sup>てん</sup>出<sup>しゅつ</sup>（市<sup>し</sup>内<sup>ない</sup>・市<sup>し</sup>外<sup>がい</sup>）、卒<sup>そつ</sup>業<sup>ぎょう</sup>す<sup>す</sup>る<sup>る</sup>と<sup>と</sup>き<sup>き</sup>に、学<sup>が</sup>校<sup>がう</sup>に<sup>へん</sup>返<sup>きゃく</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。
- 乱<sup>らん</sup>暴<sup>ぼう</sup>な<sup>な</sup>取<sup>とり</sup>扱<sup>あつか</sup>い<sup>い</sup>を<sup>を</sup>し<sup>し</sup>て、故<sup>こ</sup>意<sup>い</sup>に<sup>く</sup>ク<sup>ろ</sup>ム<sup>ー</sup>ブ<sup>む</sup>ッ<sup>ぶ</sup>ク<sup>っ</sup>を<sup>こ</sup>故<sup>こ</sup>障<sup>しょう</sup>、破<sup>は</sup>損<sup>そん</sup>さ<sup>さ</sup>せ<sup>せ</sup>た<sup>た</sup>場<sup>ば</sup>合<sup>あい</sup>は、保<sup>ほ</sup>護<sup>ご</sup>者<sup>しゃ</sup>か<sup>か</sup>ら<sup>ら</sup>修<sup>しゅう</sup>理<sup>り</sup>費<sup>ひ</sup>等<sup>とう</sup>の<sup>ふ</sup>担<sup>たん</sup>を<sup>を</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>た<sup>た</sup>だ<sup>だ</sup>く<sup>く</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>す。また、故<sup>こ</sup>意<sup>い</sup>に<sup>せ</sup>設<sup>せ</sup>定<sup>てい</sup>変<sup>へん</sup>更<sup>こう</sup>な<sup>な</sup>ど<sup>ど</sup>を<sup>を</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>ク<sup>く</sup>ロ<sup>ろ</sup>ム<sup>ー</sup>ブ<sup>む</sup>ッ<sup>ぶ</sup>ク<sup>っ</sup>に<sup>ふ</sup>不<sup>ふ</sup>具<sup>ぐ</sup>合<sup>あい</sup>が<sup>し</sup>お<sup>お</sup>こ<sup>こ</sup>な<sup>な</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>す、元<sup>もと</sup>に<sup>も</sup>ど<sup>も</sup>る<sup>る</sup>た<sup>た</sup>め<sup>め</sup>の<sup>ひ</sup>費<sup>ひ</sup>用<sup>よう</sup>を<sup>ほ</sup>保<sup>ほ</sup>護<sup>ご</sup>者<sup>しゃ</sup>か<sup>か</sup>ら<sup>ら</sup>負<sup>ふ</sup>担<sup>たん</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>た<sup>た</sup>だ<sup>だ</sup>く<sup>く</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>す。

【お問い合わせ】

村上小学校 加藤 光

TEL 53-2249